

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +90℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ～ +90℃ (95%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 6 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	φ1.13ケーブル φ1.32ケーブル	
性能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 4 mΩ以下 外部コネクタ 4 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0 ～ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
	単体挿抜力	の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 6 mΩ以下 外部コネクタ 6 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ～ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	30mm/分でケーブル軸をケーブル抜け、断線が発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 φ1.13 20N以上 φ1.32 30N以上	○	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 +25 ～ +65 ℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -40 → — → +90 → — ℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.3 以下	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	TO. KATAYAMA	18.02.14
			検 図	TO. KATAYAMA	18.02.14
			担 当	KY. SHIMIZU	18.02.14
			製 図	KY. SHIMIZU	18.02.14
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-341887-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	SMA(R)-200-066PJ4BN	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL323-0932-6-00	△ 1/1